

令和 2 年



県と市町の情報ホットライン

かがわ

vol.
107

発行●(公財)香川県市町村振興協会 監修●香川県政策部自治振興課
HP●<http://chousonkai.or.jp/shinkou/publication/>

まちづくり最前線/多度津町

My Town

まねきねこ課のまねき術

hacomo株式会社 代表取締役社長 岡村 剛一郎さん

Top Message

オモシロイで世界を拓く!

地域の元気印/坂出市王越町

People

王越とんぼランド



王越とんぼプロジェクト実行委員会は、坂出市のサポートを受け地区住民が中心となり力を合わせて、
トンボがすむ楽園「王越とんぼランド」の環境保全活動に取り組んでいます。

写真は向かって右から、王越とんぼプロジェクト実行委員会のメンバーで、三浦さん、小林さん、北山さん、藤井さん、北條さん。



多度津町



多度津町の知名度UPへ まねきねこ課のまねき術

県や市町の知名度アップは、交流人口はもとより定住人口を増やすことにつながります。知っていたことが足を向けてもらう第一歩。そこで、多度津町では、新たな町の魅力をつくり、情報を発信し、人々を招くための「まねきねこ課」を設けました。官民が協働で取り組むユニークな課の活動について伺いました。

多度津に人を招きたい！

町の総合戦略を作成するにあたり、住民にヒアリング調査を行ったところ、「良いところなのに町外に向けてPRができていない」との声が多くあったという多度津町。この声がキッカケで交流人口の拡大や移住・定住の促進を目指す、タウンプロモーション事業に取りかかることになりました。この事業の推進主体、官民協働のプラットフォームのような組織が「まねきねこ課」です。官民で一緒に事業の準備を進める中で、多度津町を訪れてくれる人々へのおもてなしの気持ちを込めた『まねきねこ課』という会議の愛称が生まれ、平成29年4月に正式に「多度津町まねきねこ

課」として発足しました。

「まねきねこ課」の取り組みには、大きく分けて「魅力づくり」と「情報発信」という二つの柱があります。魅力づくりでは、毎年冬に行う明かりのイベント「たどつ桜たんページェント」を開催。第1回が7千人、2回目は約1万人の来場がありました。「たどつく多度津号で未知なる場所」にたどつくツアー」は、四国鉄道発祥の地である多度津を訪れ実際に体感してもらおうという企画で、JR四国と協働で特別列車を運行。全国から鉄道ファンが集まりました。どちらの企画も人を招く意味で効果の高いイベントになりました。また「多度津の魅力まるごとグルメプロジェクト」では、町の特産品を使ったお弁当



瀬戸内国際芸術祭2019の秋会期において多度津町の高見島が会場になりました。そこで、会期中の週末に「たどつ推しメシ」を多度津港で販売。大変好評をいただきました。

づくりを足がかりに、現在はグルメという広範囲で「食」を通じた魅力づくりに取り組んでいます。昨年は瀬戸内国際芸術祭の来場者向けに、香川県の郷土料理「押し寿司」にヒントを得た「たどつ推しメシ」というメニューを開発し、週末に多度津港で販売したところほぼ全日完売しました。



多度津町まねきねこ課課長で商工会青年部の鈴木尉継(やすつぐ)さん。(写真右)
多度津町政策観光課係長でまねきねこ課推進員の柏木章敬(あきひろ)さん。(写真左)



JRと協働で運行した「たどりつく多度津号」は、スイッチバックで知られる徳島県の坪尻駅まで往復し、多度津に帰れば工場の引き込み線に入り、そのまま工場見学をするという企画で大好評でした。

多度津町のお勧めスポットがトレーディングカードになったTadoruCa(タドルカ)。「たどつ推しメン」に1枚ずつ入れて、集める楽しさ、探すワクワク感を演出しました。



「桜たんページェント」ではマルシェを開催。地元のおいしいものを販売しました。



タウンプロモーションロゴ(左)と「まねきねこ課」のロゴ(右)をあしらった缶バッジ。

もう一つの柱である「情報発信」では「たどりつけたどプロジェクト」と名付け、地元のケーブルテレビと協働で「多度津クエスト」という番組を制作。ケーブルテレビだけでなく、YouTubeでも配信しています。他にも、Instagram・Facebookなどの運用、缶バッジやトレーディングカード「TadoruCa(タドルカ)」などのグッズ制作も行いました。また、オリジナルのフリーペーパーは、駅などに設置するだけではなく、岡山駅まで出向いて、手配りし、PRに活用しました。

自由な発想を生む秘訣は、メンバー間のフラットな関係づくり

「これまで官民の交流はあっても、正直壁がありました。そこには『行政は動かない』という誤解があったように思います。それが、一つのプロジェクトに、一緒に取り組む中で、『動かないのではなく、理由があつて動けないのだ』『ちゃんと違うところ動いているのだ』と理解できるようになりました」と多度津町まねきねこ課課長の鈴木尉継さんは民間の立場から語ります。その言葉は「まねきねこ課」が**まず**は**官民の絆を深めた**ことを物語っています。

自由な発想を生む秘訣は、メンバー同

士が立場を超え、フラットな関係で会話できることにあります。会議では、メンバー間で上下関係が生まれないよう心がけ、最初は堅苦しくならないようにとお菓子をBGMも用意していたそうです。「官民共に年配の方が若いメンバーを温かく見守り、サポートに徹して下さったことが成果につながりました」と多度津町政策観光課係長でまねきねこ課推進員の柏木章敬さんは語ります。「何より**役場のみなさんのがんばり**です。民間は日中に時間を作ることもできませんが、行政の方は通常業務がありますから昼間は全く動けません。仕事を終えてから、取り組んでくれるわけですから頭が下がります」と鈴木さんから、は町職員をねぎらう言葉が聞こえてきました。

世代を超えて、広く町を巻き込む「まねきねこ」になりたい！

しかし、課題は山積です。個人のがんばりに頼るだけでは不安があります。「『まねきねこ課』を本業として動ける人が3人はほしい」と訴える鈴木さん。これまでの取り組みが、なかなか町全体に浸透していかないという焦りを抱えています。「広報などで情報発信を行っているにもかかわらず、町内の活動への理解度

は低いまま。タウンプロモーションは、町全体がウエルカムな雰囲気にならなければ**本当の効果を発揮**しません。我々がイベントを仕掛けることが、別のグループや個人の方のアクションにつながってほしいのですが、それがまだ見えていません。新型コロナウイルスの影響で活動が中断したこともあり、余計に浸透が進んでいないことを実感しています」と肩を落とします。そこで、柏木さんからは「町の未来のために、シビックプライドを育てる意味でも、**大学生や中高生も巻き込むスタイルを考えなければ**」と方策への発言がありました。また、現在は町からの補助を受けて事業を行っています。それがいつまで続くかという心配もあります。「活動はボランティアにこだわりたいのですが、**お金(経費)を生み出す企画も考えなければならぬ**」と鈴木さん。メンバーは継続の方策を必死で模索しています。コロナ禍にあつては、**テイクアウトやデリバリーができるお店を紹介するフリーペーパーを作成し**新聞折込を行った「まねきねこ課」。大規模イベントの開催中止が続く中、「**小規模でも喜んでもらえる何か、人が集まらなくてもできることを考えたい**」とどんなときも前向きに幸せを招く「まねきねこ課」です。

香川の先進企業の力を探る **あの人に会いたい！**

hacomo株式会社

代表取締役社長

岡村 剛一郎さん

「うどん県」のように、オモシロイことは地域の魅力づくりにつながります。行政においても、オモシロイことにどんどんチャレンジしてほしい。そのために、オモシロイことが生まれる環境を創ってください。新型コロナウイルスの影響は短期では終息しない模様。目先の支援はスタートしていますが、来年、再来年と長期的に見ても、安心の支援態勢をぜひとも整えてください。



香川県には、ダンボールを素材に次々と「オモシロイ」アイデアを生み出し続けている企業があります。世界的に見ても貴重なこの企業の製品は、新型コロナウイルスの影響で自宅待機が増える中、親子で気軽に作って遊べる「WOW(ワオ)」や作りながら海外旅行気分を味わえる「PUSUPUSU(プスプス)」、大人も子どもも扮装を楽しむ「なりきりシリーズ」など、各方面から注目を集めています。2020年2月に「かがわ成長する企業大賞」奨励部門を受賞したhacomo株式会社の岡村剛一郎氏にお話を伺いました。



社内の事務所には感染症予防のパーテーションがおかれて
います。社内用に製作し、HPに掲載したところ、思わぬ反響
がありました。



2017年に完成した新社屋。建物のファサードはバスケットボールができることを基本に
考え、ボールが当たっても良いように設計しました。これもオモシロイチャレンジの一つ。

■ 貴社の経営理念を教えてください。

「ダンボールでオモシロイことを創
造し、世界の人々にワクワクとハッピー
を届ける」をミッションに掲げ、ダン
ボール箱以外の商品を作っています。
一言で言えば「オモシロイで未来を
拓く!」というのが経営理念です。ち
なみに「オモシロサ」の定義は、ワクワ
クする。つまり驚きを与える。ハッピー
になる。手にしたヒトが思わず「オモ
シロイ!」と声が出てしまう。売上よ
りもオモシロサを優先に「ALWAYS
ENJOYMENT」(常に楽しむ)を
大切にしてきました。

■ 事業内容や取組内容について お教えください。

身近なダンボール素材だからこそ
感じる親しみ、紙ならではの温かみ
を大切に、ダンボール商品企画販売、
ディスプレイや家具企画販売、イベン
ト企画、パッケージデザインなどを行っ
ています。

■ 社名「hacomo」の由来をお教え ください。

簡単に言えば、語源は「ハッピーコミュニ
ケーション」。ゲームやインターネット
の普及により、子どもたちが手でモノ

をつくることが少なくなってしまう
ました。子どもたちに「モノづくり」
の楽しさを知ってほしい、そこから
生まれるコミュニケーションを大切に
してほしいとネーミングしたものです。
新型コロナウイルスの影響で、コミュニ
ケーションが取りづらい世の中になっ
てしまいました。また、家の中で遊ぶ
ことが多くなっています。こういうと
きこそ、「モノづくり」を通して親子
のコミュニケーションを楽しく深めて
いただきたい。「hacomo」がその
お役に立てばうれしいですね。

■ 設立前後から今日までの道のり をお聞かせください。

2000年に富士ダンボール工業
株式会社、現在の「FUTIDAN」に入
社。ダンボールや緩衝材を扱う包装
設計の仕事をしていました。同社の
本田社長は「失敗を恐れずおもしろ
いことにチャレンジしろ」と言ってくだ
さる方で、ダンボールで箱以外のオモシ
ロイものを作れないかとスタートし
ました。最初は商品にするつもりは
全くなく、社内に飾ったり、人に差し
上げたり、おまけのようなモノでした。
もともと考えることが好きだったの
で、プレッシャーはありませんでした

が、暇を見つけて制作するわけです
から、徹夜は当たり前。最後は布団
の中で眠りながら作っていたことも
ありました。何もかも試行錯誤、一つ
を創り上げるまでに膨大な時間が
かかりました。

2003年にテレビ東京の番組「T
Vチャンピオン」に初出演し、第3回
ダンボールアート王準優勝。2005
年秋には日本パッケージングコンテス
トでパッケージデザイン賞を受賞。「こ
ういうものを作れないか」というオー
ダーも増え始め、小売り向け商品を
本格的に開発するようになりました。
2008年には「hacomo」を商標
登録。実際に小売り向け商品が増え
てくると、包装資材とは顧客層も
売り方も全く違うことを実感。そこ
で2010年に、いよいよhacomo
株式会社を設立しました。その後
は2018年に「TVチャンピオン極
大KIWIAMI」に出演し、ダン
ボールアート王決定戦で優勝を飾り
ました。



初期にはノベルティとし
て配られていたhacomo
の第一号製品。黄金比を
追求している内に、プタ
の形が見えてきたので、
製品化されたものとか。

2011年にはダンボール家具の総合サイト「dan-cag」をオープン。この年、かがわビジネスモデル・チャレンジコンペで最優秀賞を受賞。2013年にイベントパックの取り扱いを開始。2016年には、かがわ発！先進的ビジネスモデル大賞を受賞し、翌年には、香川県環境配慮モデル事業所として認定されました。また、はばたく中小企業・小規模事業者300社生産性向上部門に選定され、かがわ県産品コンクールでも「15周年特別賞」を受賞しました。今年の2月には「かがわ成長する企業大賞」奨励部門をいただきました。成長する企業として認められたことは非常にうれしく、これまでの10年間、商品の面でも人材の面でもいぶん成長してきたなとふり返ることができました。



かがわ発！先進的ビジネスモデル
2016大賞受賞で贈呈された楯

**海外展開を考えることになった
きっかけをお教えください。**

もともと海外にモノを売りたいと考えていました。かがわ産業支援財団

さんに長年お世話になっていたのので、海外に商品を出しませんかという打診を度々いただき、この機会に海外向けの商品を開発しようと考えたのが「PUSUPUSU」です。ジェットロさんなどに協力をいただき、2016年のフランスの展示会から始まり、イギリス、スペイン、イタリア、アジアの広範囲に輸出先も広がってきました。



基本的にプスプスと刺すだけで完成する「PUSUPUSU」。
観光地をテーマにしたものが多く、小さなヒットと共に世界中を旅するように楽しむことができます。

**これからの商品案などがありま
したら、お教えください。**

10点ほどから始まり、現在は定番で出せる商品だけでも200点ばかりになりました。毎年30〜50の商品を送り出し、その中で廃番になるモノも多いのですが、最初から否定するのではなく新しく作ってみて売り出すよう心がけています。後はお客さま

がジャッジしてくれます。今年は新型コロナウイルスの影響で需要が大きく変わってきました。市場に合わせた商品を見直し、今、制作しているところです。これからは国内向けのネット販売に力を入れる必要があると考えています。

**特に反響が大きかった事例などお
教えください。**

例えば、美術館や博物館などでイベントを行います、「これまでの企画展の中で一番好評であった」との声も度々いただいております。おかげで、年々開催の機会も増えてきましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で全てが中止になってしまいました。今後は遊ぶというのではなく、見ることを重視したイベントが中心になると考えています。アートをテーマに制作し、価値を高めたいですね。

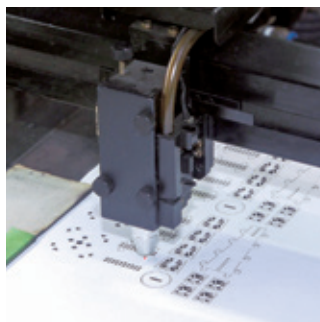
アートと言えば、瀬戸内国際芸術祭での「オフィシャルショップ」を担当させていただきました。芸術祭は会期が春、夏、秋と分かれていますので、一度売り場を撤去し、また設置しなければなりません。弊社のものは簡単にコンパクトに解体することが可能で、保管や輸送経費を著しく抑えることができます。



(右) イベントで活躍するhacomoの大型遊具。(撮影日:2012年12月)
(左) hacomoのショーケースが楽しく演出する瀬戸内国際芸術祭の「オフィシャルショップ」



アートではありませんが、ダンボールの自動販売機を制作して紹介したところ、思った以上の反響が返ってきました。また、小型の自動販売機やスロットマシン、カプセルガチャやシューティングゲームなど作って遊べる商品が新型コロナウイルス感染対応の自宅生活の影響か、人気を呼んでいます。



レーザー加工機1台から始まり、現在は9台が稼働可能。この10年で生産能力もずいぶん向上しました。

会社の将来像と目指すべき社長及び社員像をお聞かせください。

将来像はダンボールのデザインプロダクトで世界一ブランドとなることです。日本では他にない企業ではないと思いますので、日本代表として世界的な企業になることを目指しています。

理想の社員像は、その夢を共に追いかける人材。世界に通用するオモシロイ人材を育成したいと考えています。クリエイティブな自分を表現できる、オモシロイことを考えてつくりヒトをハッピーにすることを真剣に楽しむ明るい性格、新しいことにチャレンジし探求する頑張り屋さんを求めています。

社長ご自身、休日はいかがお過ごしですか。

バイクで塩江などにツーリングに出かけることも以前はよくありました。マラソンも趣味で、丸亀ハーフマラソンにも出場しました。高松のトライアスロン大会に出たいと自転車を買って練習していたのですが、新型コロナウイルスの影響で延期になってしまいました。

香川県や市町の行政に感じていることや、お聞かせください。

成長するタイミングで、行政組織から補助金などをタイミングよくいただけてきたと感謝しています。成長途上は、目先のことで精いっぱいです。



岡村 剛一郎 (おかむら・こういちろう)

香川県出身（高松市在住）
昭和52年6月26日生まれ 43歳

平成12年 3月 岡山理科大学 卒業
4月 富士ダンボール工業株式会社
(現 株式会社FUJIDAN) 入社
平成22年 11月 hacomo株式会社 COO就任
平成28年 1月 代表取締役社長 就任
現在に至る。

本社所在地 香川県東かがわ市湊1858

PROFILE

から、外からのアドバイスは本当にありがたい。今年は新型コロナウイルスの影響で日本経済全体がダメージを受けています。すぐの回復は見込めず、お客さまによってはインバウンドの落ち込みなど取り巻く環境そのものが変わってしまった企業も少なくありません。短期の支援はもちろんですが、来年再来年と長期に亘っても支援の仕組みを考えていただきたいと願っています。

本誌を読む自治体職員に向けて、アドバイスをお願いいたします。

弊社はオモシロイことに付加価値を見いだす企業です。行政の世界ではなかなか難しいとは思いますが、これからの地方の可能性を考えれば、ぜひとも面白いことにチャレンジしていただきたい。またオモシロイことにチャレンジできる環境を作ってください。コロナ禍ですが、心に余裕を持ち、オモシロイを楽しんでまいりましょう。



危機管理総局 危機管理課
主任 氏家 健介

香川県防災情報システムの運用開始について

香川県防災情報システムの概要



香川県防災情報システムについて

香川県では、防災関係機関から情報を収集し、県の防災ホームページである「かがわ防災Webポータル」や登録制の「防災情報メール」などを通じて情報提供する「香川県防災情報システム」を、本年4月から新たにリニューアルしました。

新規追加した機能について

今回のシステム改修においては住民の方の避難行動を支援するため、防災

アプリ「香川県防災ナビ」を導入したほか、市町における速やかな対応をサポートするため、次のような機能を新たに盛り込みました。

○避難情報発令支援機能

気象警報の発令時や水位の判断基準到達時などにアラートで通知し、避難情報の発令を支援する機能

○被害情報管理・集約機能

災害発生時の被災状況等の情報を時系列(クロノロジー)で市町と共有する機能

○被災者支援機能

被害認定調査後の調査票データの自動取込機能
・被災証明書及び被災証明書の発行機能 など

防災アプリ「香川県防災ナビ」について

新たに導入した防災アプリ「香川県防災ナビ」は、気象情報やダムの放流情報などを受信できるほか、スマートフォンの位置情報を使って、洪水や土砂崩れなどの危険が差し迫った場所にいる利用者に、危険であることをお知らせする機能や、最寄りに開設されている避難場所を地図上に表示し、そこまでのルートを案内する機能などを盛り込んでいます。

市町の職員の方には、ぜひ防災アプリ「香川県防災ナビ」をダウンロード

していただき、適切な避難行動を取るためのツールとしていただければと思います。

適切な避難行動の促進に向けて

県においては、テレビや新聞等を通じた広報や県広報誌における紹介など、様々な媒体を用いて「香川県防災ナビ」のダウンロードを促進し、住民の皆さまに適切な避難行動を取っていただくための支援ツールとして利用していただくとともに、システム更新において新たに取り入れた機能を中心に、迅速かつ的確な避難情報の伝達が行えるよう継続した訓練を重ねていきたいと考えています。

市町の皆さまにも、「香川県防災ナビ」の周知や実践的な訓練への参加など、今後ともご協力をいただきながら、災害時における備えを強化していきたいと思っています。

防災アプリ「香川県防災ナビ」のQRコード



Android



iOS

防災アプリへのプッシュ通知画面



マイナンバーカード出張申請サポート会場への 自治振興課職員の派遣について

市町からの

Q & A



政策部自治振興課
課長補佐 塩田 隆一

「令和4年度中にほとんどの住民がマイナンバーカードを保有」という想定に向け、各市町では「マイナンバーカード交付円滑化計画」を策定し、マイナンバーカードの普及に向けた取組みを進めていただいています。

また、特別定額給付金のオンライン申請では、住基との照合など多大な事務が生じており、マイナンバーカードに係る日頃の取組みに、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

マイナンバーカードの一層の普及に向け、私たちも少しでも皆様と一緒に汗をかければ。

そこで、出張申請サポートを実施する市町の会場に自治振興課職員を派遣します。ので、是非ご活用ください。

「出張申請サポート」とは？

職員が庁外に出向いて、写真撮影などをサポートし、本人確認は行わずに申請を受け付け、交付時に本人確認を行う申請方式です。

同じ出張でも、申請受付時に本人確認を行う「出張申請方式」と比べ、一人当たりの所要時間が短い、庁外で暗証番号設定依頼書を扱う必要がないためセキュリティ面の懸念が小さいなど、より手軽に実施することができます。

出張申請サポートにもオンライン申請と紙申請がありますよね。

その場で紙申請用の写真を撮影してお渡しする方式も効果的ですが、自治振興課職員を派遣するのは、会場へのプリンタの持込が不要なため準備が簡易なオンライン申請を基本とさせていただきます。

なお、オンライン申請には、会場で写真撮影をして役場に持ち帰ってオンライン申請する方式と、会場で申請者のスマホ操作を介添える方式があります。

どのような場所で実施する申請サポートが派遣対象ですか？

不特定多数の方が集まることで、マイナンバーカードの周知・啓発効果も見込まれる施設を基本とし、大規模店舗などの集客施設を想定しています。

自治振興課から派遣される職員は何人ですか？

2人を基本とします。
県職員は、当日使用する備品等の搬出入、会場設営、写真撮影、呼び込み・会場整理などを支援します。

実施施設の選定と場所の使用許可、備品等の準備のほか、当日の申請受付、その後のオンライン申請は市町の方でお願いします。

出張申請サポートを実施したことがなく、イメージが湧きにくいのですが。

出張申請サポートのモデル例をお送りしているのでご参照ください。当日の進行要領や会場レイアウト等をお示ししています。

気を付けなければいけないことはありますか？

申請者のスマホ操作を介添える方式の場合は、QRコード入りの申請書を持参することと、スマホで申請用URLを受信できるようドメイン設定していただく必要があることの2点を、事前に広報しておいてください。

〔自治振興課担当者から〕

本年2月、県庁舎で出張申請サポートを行っていたいた時の受付人数は、2日間の昼休みで127人になりました。

総務省の事例集を見ても、出張申請が効果的なことが窺えます。「行政職員によるサポート」や「無料の写真撮影」が申請の不安や煩わしさを軽減し、潜在的な申請需要を掘り起こすのだと思います。

申請処理できる人数に限りがあるなら、受付人数を設定する等、やり方は柔軟に決められます。

まずはお気軽に声がけください。お待ちしております。



大手前通り活用チャレンジ2019「ミチミチ」～食とクラフトに出会う秋の散歩道～

兵庫県 姫路市



市長公室企画政策推進室長
田邊 樹さん

歩きたくなるまちなかづくり ～姫路駅周辺の再整備について～

姫路市では、歩行者を主役とした、
ハード・ソフトの両面でのウォーカブルなまちづくりを推進しています。



駅前幹線「大手前通り」完成

再整備前

再整備後



平成23年
～
平成26年
姫路駅北駅前広場整備後
「トランジットモール化事業」



「大手前通り」の変遷

1 姫路市の概要

姫路市は、兵庫県の南西部に広がる播磨平野のほぼ中央に位置し、世界文化遺産・国宝姫路城や姫路駅を中心に市街地が広がる人口約53万人の中核市です。

姫路駅から姫路城までをつなぐ幹線「大手前通り」が目抜き通りとなっており、姫路市は姫路城と姫路駅、それをつなぐ大手前通りを中心にして発展してきました。

2 ウォーカブルなまちづくりの推進

(1) 姫路駅周辺整備事業

姫路駅周辺の面積45.5haにわたる鉄道用地等のうち、高架用地以外を姫路市が取得することで、都心部に貴重な街区を生み出しました。姫路駅前を玄関口のエントランスゾーンとして、その東側で貨物ヤード跡地などを、コアゾーン、イベントゾーンとして、都心の魅力づくりやまちづくりの拠点とし、開発に取り組んでいます。これまでの姫路駅と姫路城を結ぶ南北の都市軸だけではない、新たな東西方向の都市軸です。

(2) コアゾーンの整備

「コアゾーン」は、市がブロックごとに

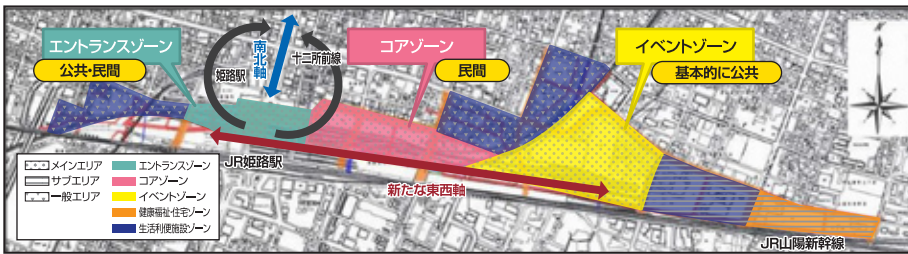


兵庫県姫路市

●面積 / 534.47km²
●人口 / 529,216人
●HPアドレス
<https://www.city.himeji.lg.jp/>

DATA

開発業者を募集し、駅前という立地を最大限に活かすため民間による開発を進めました。これにより、駅前に魅力を生み出し、市外へ消費が流出することを抑制するとともに、市内において新しい需要を創出すること、都心部への集客力を強化し、都市としての成長性を高めることを企図しました。



	エントランスゾーン	コアゾーン	イベントゾーン
基本的な方向	播磨の中核都市にふさわしい都市の顔として整備	・新たな都市機能の立地 ・消費流出抑制と新規需要を創出 ・都心部の集客力を強化 ・都市の成長力を高める	技術や人が交流する場、市民の芸術・文化活動の場、市民の憩いとするおのの場
土地所有者	市、JR、神姫バス 他	市、JR 他	市 他
主な事業者	公共・民間	民間	基本的に公共

新たな都市軸の形成

(3) イベントゾーンの整備

コアゾーンからより東側となるイベントゾーンは、技術や人が交流する場、市民の芸術・文化活動の場、市民の憩いとするおのの場として整備していくこととし、市や県による公共を中心とした整備をしております。

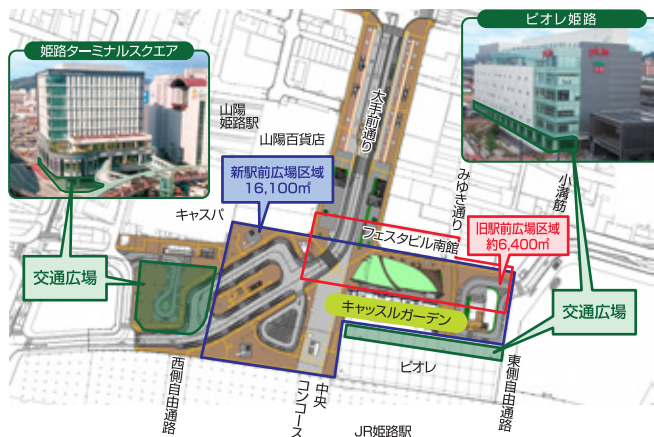
イベントゾーンの西半分は、播磨の文化芸術の拠点としての機能と、「ものづくり力の強化」「地域ブランドの育成」「交流人口の増加」を促進する機能を合わせもつ複合施設として、姫路市文化コンベンションセンターを建設し、令和3年秋のオープンを目指しています。

イベントゾーンの東半分には、播磨姫路圏域の救急医療政策の要を担う医療機関として、令和4年の開院に向け、県立はりま姫路総合医療センター（仮称）の建設が進められているところです。

(4) エントランスゾーンの整備

エントランスゾーンについては、播磨の中核都市にふさわしい都市の顔として整備することとし、市だけでなく、JRや神姫バスなどの民間の協力を得つつ、整備が行われました。観光案内所、市民トイレなどのほか、バス、タクシープールを整備し、そこから駅前に配車することで、駅前広場に停車するバス、タクシーの台数を抑えて、歩行者のための空間を確保しています。

そして、道路交通法による「路線バス・タクシーを除く車両通行禁止」の規制を行い、「トランジットモール化」の実現となりました。これにより、片側3車線から1車線とすることができ、歩道幅を約2倍としました。駅前広場の区域が拡大されただけでなく、環境空間比率も26%から67%に増加しました。



エントランスゾーンの整備

3 居心地のよい歩きたくなるストリートの推進に向けた展望について

(1) ハード整備からソフト整備へ

これらのハード面での整備が着々と

進められている一方で、エリアマネジメント等のソフト面での整備にも着手しております。

「姫路駅北にぎわい交流広場条例」を制定し、年間390件ものイベントが開催されるに至りました。

また、大手前通りシャンゼリゼ化プロジェクトと題して、大手前通りエリア魅力向上推進事業が行われております。「歩くのが楽しくなる大手前ストリート」、「エリア価値を向上させるストリート経営」を目指し、沿道ビルオーナーやテナント事業者が中心となった大手前未来会議（OMK）を立ち上げ、令和元年度から5か年程度かけ、大手前通り活用チャレンジによる実証実験を行いながら、大手前通りの将来ビジョンを取りまとめていきます。

4 おわりに

まちづくりは健康づくり

これからの超高齢社会において、健康寿命を延ばし、すべての市民が元気に過ごし続け、意欲のある限りいつまでも活躍し続けられる生涯現役社会を形成していくことは非常に重要です。活躍の場を作ることや保健福祉政策を進めるとともに、まちづくりによって、歩くことによる健康づくりを進めてまいります。

香川の まち歩き

三木町では、地域の方々や香川大学経済学部
みなさんと連携して、県内初の「フット
パス」コースを設定しました。「フットパス」とは、
森林や田園地帯、古い町並みに設けられた歩行者用
の小道のこと。三木町の素顔が見えてくる小粋な
散策コースをご紹介します。



ことでん白山^{しらやま}駅を降り立つと、目前にそびえているのが讃岐七富士の一つといわれる「白山」^{しらやま}。美しい小山の麓にある「白山神社」から、三木町のフットパス探検が始まります。延長4(926)年に加賀(現在の石川県)の人が白山^{はくさん}妙理権現を勧請したという「白山神社」。それが白山の名前の由来とか。標高203m、神社に向かつて左側にある登山口から20分ほどで山頂



「白山神社」のご祭神は伊邪那美命(いざなみのみこと)。総本宮は石川県白山市に鎮座する白山比咩(しらやまひめ)神社です。

三木のフットパスを探検してみよう! 三木町



五分一池に緑を映す白山。

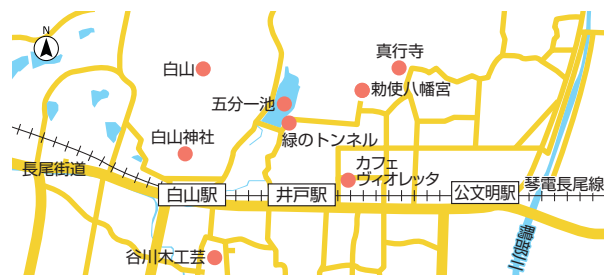


小鳥の声も心地よい緑のトンネル。

に到着します。讃岐平野を一望する白山山頂は、祝日に日の丸が上がることでも知られています。
今回目指すのは山頂ではなく、フットパスの小道。神社の石段を下り、線路を渡らず駅前を左に折れて線路沿いに進み、すぐに山手の道に曲がれば、先に緑の池の堤が見えてきます。白山の東南の麓にあるため池「五分一池」^{ごぶいち}。土手に沿って右に曲がれば、下にはのどかな田園風景が広がります。池に沿って左に曲がれば、梢のトンネル。池越しには、やさしい曲線の山の姿。先で道は右に曲がり、山の小道を進みます。



この日のガイドは、左から谷川木工芸の谷川清さん、三木町地域活性課主事の永田大樹さん。





三木の田園地帯の向こうに嶽山(だけやま)などの三木町の山、その後ろに阿讃の山並みが連なります。

開けると個人の庭先に出たような錯覚を覚えますが、ちゃんと左に道は続いています。南には田畑や三木の町並み、遠くに讃岐山脈が連なっています。次に山手に上れば「勅使八幡宮」。上がり口付近にある石柱は地元では水の神様と呼ばれていて、雨乞いのみならず洪水よけにもなり、ほどよい水の恵みをもたらしてくれるそうです。八幡さんの前には素朴な木の鳥居。くぐれば、建物の後ろに応神天皇を祭る祠が…。お参りしてふり返れば、素晴らしい眺望のご褒美。晴れ渡った日には、遠く剣山の頂きも望めます。



真言宗善通寺派の宝積山光正院真行寺。天長7(830)年の開基と伝われます。



三木フットパスのランチスポット「カフェヴィオレッタ」。“生姜とシナモンのチャイ”といったドリンクもおすすめ。

八幡さんの山道を下りて、山際に沿って進めば、次の目的地「真行寺」があります。山門は鐘楼門。境内に入れば、町の文化財に指定された「真行寺の板碑」があり、説明によると室町時代初期のもので讃岐では珍しく、阿波から来たと推測されています。山手には足利十代將軍義隆の墓と伝わる「鎌倉塚」。足利家とのつながりを思わせて、本堂の瓦や門扉には「足利二つ引」の紋があらわれていました。真行寺を後にして、健脚の人は鴨部川のほとりに向かい川沿いに南下します。ショートカットをするなら、そのまま田んぼの中の道を南下。どちらのルート

も立ち寄りスポットのお勧めは、ことடன்井戸駅の近くにある「カフェヴィオレッタ」。料理教室の先生でもあるオーナーの料理は、味も栄養もバッチリ。ランチやドリンクでほっとした後は、井戸駅の踏切を渡り、長尾街道に出ましょう。街道を南に渡り、住宅や田んぼの横をすり抜け、最後の見どころ「谷川木工芸」に到着します。昭和30年にすし桶製造所として始まり、今では、風呂桶やおひつ、椅子も製造、時には足湯やバーカウンタもオリジナルで創り上げているそうです。谷川



今年創業65周年。直径15cmから60cmのさまざまな桶を製造してきた谷川木工芸。木を扱う技は秀逸です。



おひつや愛らしい弁当箱「讃岐弁」シリーズも一生ものの工芸品。

さんの仕事ぶりを見学させていただいた後は、少しシャープになった白山を目指して出発点に戻ります。フットパスルートとしてガイドがなければ、おそらく知ることができなかつた里山の小道。地元の人々の暮らしの道に足を踏み入れる感激がありました。地元の方と言葉を交わすチャンスがあれば、さらにディープな三木町の魅力にふれることができることでしょう。みなさん、マナーを守って素顔の三木を探検しましょう！

※ルートには未舗装の山道などもあります。夏はマムシやムシなどにお気をつけください。

「三木のフットパス」

問い合わせ先 三木町地域活性課 ☎087-891-3320

香川の自治に新しい力 New Face

はじめまして

高松市
人事課

豊福実捺さん
とよふくみなつ



■今、熱中していることは？
ガーデニングです。小さなスペースですが、独自の癒し空間を作って楽しんでいます。

■高松市のいいところは？
コンパクトながらも四国を代表する都市機能を備えているところ、自然もたくさんあるところです。

丸亀市
総務課

永瀬拓海さん
ながせたくみ



■あなたのチャームポイントは？
優しく接することができるということです。多くの人の役に立てるように意識しています。

■丸亀市をこうしたい！

幼稚園や学校に通う子どもたちとその保護者が安心できる環境作りを行い、たくさんの方から支持されるまちにしたいです。

坂出市
税務課

東條日向子さん
とうじょうひなこ



■あなたのチャームポイントは？
小柄な割に丈夫な身体です。学生時代は皆勤賞をとりました。

■坂出市のいいところは？

交通アクセスの良さと、専門科を有する学校が多いところです。自分の学びたい知識をしっかりと身に付けることができます。

善通寺市
税務課

好永衣吹さん
よしながいぶき



■今、熱中していることは？

フィルムカメラです。フィルム写真の独特の雰囲気、気付けば夢中になっていました。

■善通寺市のいいところは？

自然豊かで特色ある歴史や文化に触れることができ、また福祉関係も充実し誰もが安心して暮らせるところです。

土庄町
企画課

中西真也さん
なかにししんや



■目指す人物像は？

人と違うところに気付くことができ、分かりやすく説明できる人を目指しています。

■土庄町をこうしたい！

町民の方にとって住みやすく、町外の方にとって訪れやすい、多くの人に親しまれるまちにしたいです。

小豆島町
建設課

辻碧さん
つばあひ



■今、熱中していることは？

初めて梅酒と梅シロップを漬けてみました。暑い夏にかき氷にかけて食べるのが楽しみです。

■小豆島町のいいところは？

生活とともにある豊かな自然が季節ごとに様々な表情を見せてくれます。古くからの文化を継承する地域の力が素敵です。

三木町
生涯学習課

多田倅子さん
たださちこ



■目指す人物像は？

母です。いつもテキパキと自分から行動を起こしているところを尊敬します。

■三木町をこうしたい！

誰もが住みやすいまちにしたいです。多くの町民の方とふれあう中で、細やかな気配りができる職員を目指して頑張ります。

宇多津町
まちづくり課

木谷文昭さん
きたにふみあき



■あなたのチャームポイントは？

いつも笑顔なところです。笑顔でいると幸せな気分になるので、常に心がけています。

■宇多津町をこうしたい！

町民の皆さまはもちろん、誰もが安心して暮らすことができる、活気にあふれた、笑顔の絶えないまちにしたいです。



昨年行われた落成式と同時開催された自然観察会では多くの親子が参加し、自然を満喫しました。



およそ30種のトンボが生息するといふとんぼランド。トンボの他にも多くの命が息づいています。



坂出市 王越町

里山によみがえるトンボの楽園

王越とんぼランド

(王越とんぼプロジェクト実行委員会 北山 定男委員長)

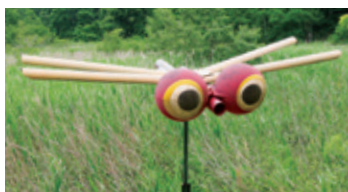


※ 16号線を曲がる付近にある「番屋」のバス停看板が目印です。
※ 路線バスでお越しの際は、坂出駅発に乗り、徒歩5分。
※ お車でお越しの際は、「交流の里おうごし」の駐車場をご利用ください。徒歩10分。



北山定男さんは、「王越町共に生きるまちづくり推進協議会」の会長でもあり、また、「かがわ自主ぼう連絡協議会」理事も務めています。

坂出市王越地区は、高松と坂出を結ぶ海岸線沿いにありながら、山々に囲まれた隠れ里の風情があります。そこには、自然豊かで広大なトンボの楽園が広がっています。始まりは25年前、「王越自然界倶楽部」により「王越とんぼランド」がスタートし、王越小学校の児童たちが、自然環境学習の一環として使用前のプールで捕まえたヤゴをトンボまで育てて観察を行っていました。ところが、小学校が休校(後に廃校)になると子どもたちがトンボを育てることもなくなり、耕作放棄地も増えることで飛び交うトンボの種類や数が減っていききました。トンボどころか人口減少も歯止めがきかず、高齢化の一途をたどるばかり。このままでは王越に、ヒトもトンボもいなくなると危惧したのが、「王越町共に生きるまちづくり推進協議会」の北山会長でした。交流人口を増やすために「とんぼランド」を整備したい一心で、仲間たちと共に「香川県地域コミュニ



県の資金援助によりトンボのモニュメントや看板なども設置しました。

ニティ活動支援事業補助金に応募したところ採択され、2014年にはトンボのモニュメントなどを設置しました。また、2018年から坂出市のサポートを受け「王越とんぼランド」およびその周辺の環境を整備し自然環境教育への活用を図ることを目的とした「王越とんぼプロジェクト実行委員会」を設立し、池、水路、木道の造設、清掃、子どもたちを対象とした自然観察会の実施などを続け、2019年7月に「王越とんぼランド」が新たに生まれ変わりました。現在、この実行委員会のメンバーは5名。王越町共に生きるまちづくり推進協議会と王越自然界倶楽部、ナチュラリストネットワークがわ、学識経験者で構成され、また坂出市生涯学習課が一致協力し、日ごろの整備や観察会の開催などを行っています。今年には新型コロナウイルスの影響で予定が立てづらい状況ですが、8月には坂出市内の市立小学校が自然環境学習に訪れるほか、

坂出市生涯学習課主催で親子自然観察会を2回行う予定です。
トンボは水面の反射で水のありかを確認するので、池などを覆う藻をすくい取らなければなりません。こうした地道な作業により、一時は半減したトンボの種類も徐々に増えていきました。今では30種類ほどのトンボが確認され、他ではめったに見られない絶滅危惧種の姿も見ることができるようになりました。「道具を持ち寄るなど自分たちができることは何でもしたいけれど、高齢化の地区では県や市の援助がなければ未来に続きません。皆さんの力を借りながら整備を行い、多くの人々が集うとんぼランドにしたい」と語る北山委員長。旧小学校の校舎を利用した「交流の里おうごし」や「王越とんぼランド」に子どもたちの歓声が響き渡る日が早く来ることを願っています。

DATA

王越とんぼプロジェクト実行委員会 事務局
坂出市生涯学習課社会教育係
☎0877-44-5025

サマー
ジャンボ

7
億円

1等前後賞合わせて7億円
1等5億円、前後賞各1億円

ミニ
サマー
ジャンボ
1
千万円

1等 1,000万円

当せんの
チャンス
広がる

2つのジャンボ
ラッキージャンボ

PCやスマホからも
インターネット購入
できます!



宝くじ公式サイト

<https://www.takarakuji-official.jp/>

この宝くじの収益金は
市町村の明るく
住みよいまちづくりに
使われます。



7月14日(火)

発売期間 7月14日(火)~8月14日(金) 抽せん日 8月21日(金)

同時
発売

各1枚 300円

2020年 市町村振興宝くじ

公益財団法人 香川縣市町村振興協会